

地方 District

※自治体、産学連携などの情報は編集部(☎03-5296-1015)まで

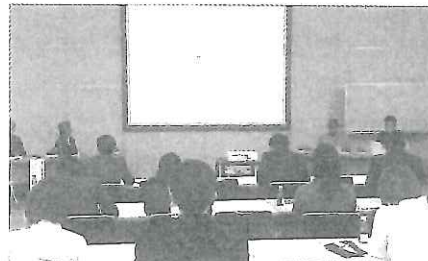


“ヌチグスイ(命薬)”思想を全国へ 琉球もろみ酢、エビデンス進む

沖縄スーパーフード協会は先月17日、「健康博覧会2017」の記念セミナーで、沖縄スーパーフードの魅力や、その効果についての科学的アプローチの事例等を紹介した。同協会理事長の西大八重子氏は、独特の気候と風土で育った沖縄食材は、栄養素が豊富にあることを紹介。「沖縄野菜はカルシウムやビタミンAが豊富で、活性酸素を抑える抗酸化物質が多い。野菜を多用した沖縄伝統食には高血圧を予防するという研究成果がある」と話した。また沖縄には“ヌチグスイ(命薬)”という言葉があることを紹介し、「薬になるくらい美味しい食事を頂いたときに、感謝の気持ちを込めて“ヌチグスイになりました」という。ヌチグスイの考えに基づく沖縄スーパーフードを全国に広げたい」と力強く語った。

続いて、サッカー元日本代表で現在、沖縄SVの代表・監督・選手を兼任する高原直泰氏が登壇。琉球大学、県内事業者とともに共同開発中の琉球もろみ酢を紹介した。自身で飲用しており、「アミノ酸

沖縄スーパーフード協会



沖縄で活動するサッカー元日本代表・高原氏が応援に駆けつけた。

やクエン酸を豊富に含み、疲労回復のほか、朝の目覚め感が良い」と琉球もろみ酢の魅力を述べた。年内の製品化を目指すとともに、沖縄の地域資源を活用した製品開発を継続的に行っていくという。

琉球大学 観光産業科学部教授の荒川雅志氏は、琉球もろみ酢を用いたヒト臨床試験の現状を報告した。同氏は「スポーツ競技者、職業アスリートとともに、疲労回復感、起床感、熟眠などにおいてプラセボ群と比較して良い結果出ている」と説明。さらに精査して今秋の関連学会で研究成果を発表するとした。

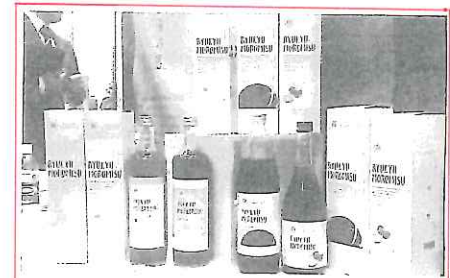
NEWS

●ニュース

沖縄県、食品・サプリ・コスメが集結

黒麹、アロエ、クワンソウ、アセロラー。沖縄素材を用いた健康志向食品、サプリメント、化粧品が「健康博覧会2017」で紹介された。

沖縄TLO、沖縄県健康産業協議会、(公財)沖縄県産業振興公社、沖縄県健康産業協議会、トロピカルテクノプラスが連携し、沖縄ブースを形成。沖縄スーパーフード協会は、沖縄の食文化“ヌチグスイ(命薬)”に基づいた素材・商材を紹介した。琉球もろみ酢では、パッケージを刷新した新商品4品をお披露目。女性を意識した商品として来場者の関心を惹いていた。ヘリオス酒造は、機能性表示食品を目指した琉球もろみ酢の試飲を実施。担当者は「疲労回復に関わる機能性表示を進めている。味、商品ネーミングなどマーケティングに役立った」と話す。クレイ沖縄は、クワンソウエキス配合の快眠サプリメントを出品。同品は、通販カタログ誌「通販生活」のプライベートブランド品になり、「例年以上に来場者が多かった。機能性表示食品の快眠サプリが



疲労回復が期待できる琉球もろみ酢

増えたこともあり、快眠への関心が高まっている」と話す。

沖縄アロエ、宮古島アロエベラ特産品振興会は、県産アロエを用いた飲料や化粧品などを紹介。宮古島アロエベラ特産品振興会・担当者は「有機JAS品が評価され、今後につながる商談ができた」と手応えを感じていた。

このほか、県産ハーブ38種類を配合した健康・美容茶(沖縄長生薬草本社)、アセロラ種子と「スマート乳酸菌」配合したサプリメント(やんばる彩薬)、沖縄近海で獲れる鮫を原材料とする「鮫ジャーキー」(スクワラン本舗)など、特色ある素材・商材が紹介された。